

2007年6月8日 発行:日本共産党枚方市議会議員団
枚方市大垣内町2-1-20 TEL072-841-7243(FAX兼)

市議会全員協議会

消えない疑惑!

市長は説明責任をきちんと果たせ

**「事態收拾」と言いながら説明の努力なし
「水増し」の根拠示さず**

6月7日(木)午後1時から、全員協議会が開催されました。各会派わずか30分の質問時間でした。

市長は冒頭、市民と議会に対してお詫びの言葉と「事態收拾する」と述べましたが、協議会の質問に対する答弁では一貫して「関与していない」「契約には一切口を出していない」と繰り返しました。

問われていることに関して、何ら具体的なことを示さない無責任な態度に終始しました。

共産党議員団から中西 が115億に工事費が膨れ上がった。建物と煙突工事で39億円だったものが、なぜ、管理棟などの付帯施設工事を加え、17億円膨れ上がり、56億円になったのか、その「内訳を示せ」と迫ったが、納得できる答弁が得られなかった。不正な契約だったということが明らかではないか。

中西議員が市長を追及

「私たちは共産党議員団はこれまでの議会の中で一貫してこの問題を追及してきた。特にプラント(焼却炉)工事費と建て屋を含む本体工事の合計費用は100億以下に抑えたいといっていたのかではないか。

**市長、異例の所信表明中止
談合事件を引き続き究明します**

6月7日、6月議会の議会日程を決める議会運営委員会が開催されました。市長は冒頭、「迷惑をかけた」と謝罪し「事態の収集に尽くすため」との理由で所信表明を中止したいと申し出ました。

市長当選後、初めての定例議会となる6月議会では、市長が今後4年間の市政運営方針を所信表明として発表し、これに対する各会派からの代表質問が通常行われます。これが出来ない異例な事態となりました。

6月14日(木)	本会議・一般議案
6月18日(月)	常任委員会
6月19日(火)	常任委員会
6月20日(水)	本会議(一般質問) 2番目に野口議員が談合追及
6月21日(木)	本会議(一般質問)
6月22日(金)	本会議(一般質問) 2番目(予定)石村議員が質問
6月26日(火)	本会議

このため代表質問に



6月7日、午後6時からの記者会見

記者会見で17億円の水増しについて問われ、市長は「中身について私は知らなかった」と答えた。これに対し記者から「市民に対する責任を感じないのか」と問われる場面も...



「市民から今、出されている疑問について市長自身が積極的に答えるべきではないでしょうか。そうしなければ、枚方は「談合の呪縛」を拭けません。」

市長の責任は重大

「市長は問題がなかったかと思っています。しかしながらもう少しきちんと説明しなければならなかったかと思っています。(契約が)不正ではなかったのかということですが不正だとは思ってはいません。この入札の変更(分割から一括)については私は逐一報告を受けていません。報告を受けない事務的にきちんと処理すべきなので私は報告を受けたり、口を挟むシステムにはしていませんのでよろしくお願ひします」

中西議員の質問要旨

今回の談合事件について、連日の報道で市民は大変怒っています。同時に枚方市政に對しての信頼が大きく損なわれてしまいました。

今回の第2清掃工場土木建築工事請負契約に関して、我々は、一貫して談合の疑いがあると指摘してきた。しかし、その都度、行政側は問題ないとのべてきた。この点での市長の説明を聞きたい。

来、地元業者に分割して発注する方針であった、正門、洗車棟、駐車場工事を補助金のタイムリミットを理由にして工期の延期できないから一括発注に切り替えた。当初、このような説明だった。本当にそうだったのか。延期できない理由の一つである補助金は変更届けを出すことで延期は可能です。

17億円は高くないというのなら、その理由を示すべきではないか。一括で行くのか、分割で行くのか庁内の検討委員会も開かず、一括発注と分割発注のコストの比較もせずに方針を決定しました。これは全く市民の理解が得られません。17年度では多くの予算を「市財政状況が厳しい」といって「コスト削減して」いました。

問題の05年の契約では、本

中略(1ページに質問要旨)

9月22日から

今度は一括発注の見積もりを始めて9月末に工事が完了していることから、9月末には両方の見積もりがすでに存在していたはずですが、内訳の見積もりが出さないということにはなりません。

9月末には、根拠となる建物ごとの(数量・材料・単価)数量は出されていないはずですが、17億円の水増しが高すぎるという批判の中で、各棟別の積算を今の時点でも出していないというのは、全く理解できない。ここが、今回の談合事件の根幹部分だ。工事費膨らませるために、市がかかわった。官製談合の根拠がここにある。

今度の見積もりがすでに存在していたはずですが、内訳の見積もりが出さないということにはなりません。

ところが第2清掃工場の建設事業では100億円以内に抑えるといっていた総事業費が115億円まで膨らんでいます。15億円という金額はすべての生涯学習センターの年間使用料30年間分です。これだけのものをコスト計算もせずに決めていた。

市民からお金を取るときはきっちりコスト計算をし、ゼネコンのために市民のお金である税金を工事費として支出するときはコストも計算しない。全く信じられません。市長としてどう市民に説明するのか。

市長は「談合を許さない」ということであれば、検討会議や検討委員会に審議を差し戻し発注方式を再検討するのが当然です。

電子入札導入後90%を超える契約案件 5件すべて重点プロジェクト所管 平均95.32%

2006.11.8	火葬場新築工事(電気設備)	298277000	253535000	85.00
2006.11.8	火葬場新築工事(機械設備)	245154000	167500000	68.32
2006.11.8	火葬場新築工事(建築工事)	1470510000	1225000000	83.30
2006.8.9	元北牧野小学校集会施設新築工事(建築工事)	163146000	138674000	85.00
2006.5.9	公共下水道第53工区枚方藤阪線雨水線築造	259668000	155360000	59.83
2005.11.10	第2清掃工場建設工事(土木建築工事)	5648966000	5560000000	98.43
2005.11.10	公共下水道第64工区枚方藤阪汚水線敷設	303589000	242871000	80.00
2005.8.10	公共下水道第62工区长尾東町地区雨污水管	429702000	343761000	80.00
2005.8.10	火葬場火葬炉設備整備工事	410336000	276700000	67.43
2005.8.10	公共下水道第63工区长尾台地区污水支線	389923000	311938000	80.00
2005.4.6	第2清掃工場建設工事(プラント設備工事)	5923462000	5500000000	92.85
2005.1.15	人材育成複合拠点施設(機械設備)	154855000	148000000	95.57
2005.1.15	人材育成複合拠点施設(電気設備)	156658000	147000000	93.83
2005.2.24	人材育成複合拠点施設(建築工事)	191810000	153585000	80.07
2005.1.15	中央図書館改修工事(建築工事)	360917000	346000000	95.87
2004.7.25	公共下水道第61校区山田雨水幹線築造	2817441000	2730000000	96.90
2003.8.8	南部市民センター	1013360000	975500000	96.26
2003.4.10	14工区池之宮污水支線	315804000	310000000	98.16
2003.10.24	元下水汚泥処分地安全対策	194760000	188000000	96.53
2003.4.11	下水道第2工区长尾元町2丁目	218618000	139980000	64.03